職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年	月口 1 1	交長名			所在地			
東京メディカル・スポ	ーツ専門	平成30年8月		コ 正雄	〒 (住所)	134-0088 東京都江戸川区西葛西				
学校 設置者名		設立認可年	月日 代	表者名	(電話)	03-5605-2930	所在地			
学校法人滋慶:	学園	昭和58年12月		舟 邦彦	(住所)	134-0084 東京都江戸川区東葛西				
					(電話)	03-5878-3311		左告	**	末明部和部户左东
分野 医療		8定課程名 療専門課程	認定学科 柔道整復師科(4			門士認定年度 成28(2016)年度	高度専門士認定 -	年度		<u>専門課程認定年度</u> 29(2017)年度
正 /示	, E.	W-4-1 104-12	木起正及即 行(1 80 - 707	1 ''	%25(2010)+1X			1 7%	20(2017)-12
学科の目的	柔道整復師	iとして必要な知識・!	支術・臨床力を身に付	け、変化する	る社会の中で	でも医療現場やスポーツの)現場で活躍できる柔	道整復師を勃	養成する。	
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)		師国家試験及び認 を身に付ける。	定実技審査に合格で	きる知識・技	術を習得す	る。②スポーツの分野で活	話躍できる知識・技術を	を習得する。 🤅	3変化する	社会に対応できる思え
修業年限	昼夜		要な総授業時数又は 位数 	ā	講義	演習	実習	実験		実技
3		※単位時間、単位いずれ かに記入		1,980	0 単位時間	単位時間	780 単位時間		位時間	単位時間
生徒総定員	生徒実	:員(A) 留学生	単位 E数(生徒実員の内数)(B)	留学生	単位 割合(B/A)	単位	単位	単作	11/	単位
180 人	112	Λ	0 人	(0 %					
	■卒業者数	数 (C)	: 36		人	 =				
	■就職希望 ■就職者勢		32		<u> </u>	-				
	■地元就取	哉者数 (F)	23		Ì	- =				
	■就職率	(E/D) C占める地元就職者	100 の割会 (F/F)		%	_				
			72		%	_				
	■卒業者に	占める就職者の割	슼 (E/C) 89		%					
就職等の状況	■進学者数	数	4		人	_ _				
赤蝦寺の 状況	■その他									
	次年度国記	试再受験								
	(令和 ■ ナ か計略		者に関する令和6年5月	1日時点の情	報)					
		戦先、業界等 ፧外科・介護施設・一般	企業等							
			L*4							
	NEMIN TENS	771771000000000000000000000000000000000								
	■民間の詞	評価機関等から第3 例えば以下について								
第三者による	■民間の詞	評価機関等から第3 例えば以下について(壬意記載	5		an tree	24.83.848.3.3.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	nttps://www.	tokyo-	
第三者による 学校評価	■民間の記 ※有の場合、	評価機関等から第3 例えば以下について(^{狂意記載} 団法人柔道整復教育	5 受審年月:	2024年3	月 評価が	府米を拘載した ムページⅡRI			:/about/info/hokoku.
学校評価	■民間の記 ※有の場合、	平価機関等から第2 例えば以下について _{で毎日は、} 一般社ほ	^{狂意記載} 団法人柔道整復教育	受審年月:	2024年3.	月 評価:	府米を拘載した ムページⅡRI			s/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の	■民間の記 ※有の場合、	平価機関等から第3例えば以下について何 例えば以下について何 中個団体: 評価機材	^{狂意記載} 団法人柔道整復教育		2024年3,	月 評価	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/		s/about/info/hokoku.j
学校評価 当該学科の	■民間の記 ※有の場合、	平価機関等から第3例えば以下について何 例えば以下について何 中個団体: 評価機材	^{狂意記載} 日法人柔道整復教育		2024年3.	月 評価	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/		s/about/info/hokoku.j
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等から第3例えば以下について何 例えば以下について何 中個団体: 評価機材	^{狂意記載} 日法人柔道整復教育		2024年3,	月 評価	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/		s/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 呼価団体: 一般社E 評価機材 w.tokyo-medical.ac.i	^{狂意記載} 日法人柔道整復教育		2024年3.	月 評価	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac,jp∕ <u>If</u>		o/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 子価団体: 一般社匠 評価機材 w.tokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数	^{狂意記載} 日法人柔道整復教育	<u>/</u>		月 評価が	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac,jp∕ <u>If</u>	/assets/doc	s/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 呼価団体: 一般社匠 評価機材 w.tokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業	H意記載 四法人柔道整復教育 青 o/course/judo-study	<u>/</u> 実習・実技 <i>の</i>		月 評価	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/ <u>ff</u> 180 単 180 単	/assets/doc	s/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 呼価団体: 一般社匠 評価機材 w.tokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業	田意記載 田法人柔道整復教育	<u>/</u> 実習・実技 <i>の</i>		月 評価	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/ ff 180 単 180 単	位時間 位時間	s/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 呼価団体: 一般社匠 評価機材 w.tokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	田意記載 田法人柔道整復教育	<u>/</u> 実習・実技 <i>σ</i> . 授業時数)授業時数		府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/ ff 180 単 180 単 180 単	位時間 位時間	c/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 呼価団体: 一般社匠 評価機材 w.tokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	田意記載 田法人柔道整復教育 A course/judo-study 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 授業時数	/ 実習・実技の 授業時数 した必修の実	D授業時数 駅験・実習・	実技の授業時数	府米を拘載した ムページⅡRI	180 単 180 単 180 単 180 単 180 単	位時間 位時間 位時間	o/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 子価団体: 一般社匠 評価機材 w.tokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	田意記載 田法人柔道整復教育 Acourse/judo-study 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 授業時数	/ 実習・実技の 授業時数 した必修の実 した必修の演	D授業時数 実験・実習・ ででで受業時	実技の授業時数	府米を拘載した ムページⅡRI	180 単 180 単 180 単 180 単 180 単 180 単	位時間 位時間 位時間 位時間	o/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	■民間の記 ※有の場合、 https://ww	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 子価団体: 一般社匠 評価機材 w.tokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	田意記載 田法人柔道整復教育 A/course/judo-study 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	/ 実習・実技の 授業時数 した必修の実 した必修の演	D授業時数 実験・実習・ ででで受業時	実技の授業時数	府米を拘載した ムページⅡRI	180 単 180 単 180 単 180 単 180 単 180 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	o/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合、 https://ww (A:単位	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 子価団体: 一般社匠 評価機材 w.tokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	田意記載 田法人柔道整復教育 A/course/judo-study 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	/ 実習・実技の 授業時数 した必修の実 した必修の演	D授業時数 実験・実習・ ででで受業時	実技の授業時数	府米を拘載した ムページⅡRI	180 単 180 単 180 単 180 単 180 単 180 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	o/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	■民間の記 ※有の場合、 https://ww (A:単位	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 子価団体: 一般社匠 評価機材 w.tokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企	田意記載 田法人柔道整復教育 A/course/judo-study 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	/ 実習・実技の 授業時数 した必修の実 した必修の演	D授業時数 実験・実習・ ででででである。 できまれる。 できまれる。 できまれる。 できまれる。 できまれる。 できままれる。 できまれる。 できまれる。 できまれる。 できまままままる。 できまままままままままままままま。 できまままままままままままままままままま	実技の授業時数	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/ if 180 単 180 単 180 単 0 単 0 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	o/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合、 https://ww (A:単位	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 子価団体: 一般社匠 評価機材 wtokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定)	田意記載 田法人柔道整復教育 A/course/judo-study 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	/ 実習・実技の 授業時数 した必修の実 した必修の演 ターンシップ	シ授業時数 ・実習・ ・実習・ での授業時数	実技の授業時数	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/ if 180 単 180 単 180 単 0 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	o/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合、 https://ww (A:単位	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 例えば以下について 評価機材 wtokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 数による算定) 総授業時数 うち企業	田意記載 田法人柔道整復教育 Acourse/judo-study 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 すち企業等と連携 業等と連携したイン	実習・実技の 授業時数 した必修の実 した必修の演 ターンシップ	シ授業時数 ・実習・ ・実習・ での授業時数	実技の授業時数	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/ if 180 単 180 単 180 単 0 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	o/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合、 https://ww (A:単位	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 例えば以下について 評価機材 wtokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業	田意記載 田法人柔道整復教育 Acourse/judo-study 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 ま等と連携したイン	実習・実技の 授業時数 した必修の実 した必修の演 ターンシップ	シ授業時数 ・実習・ ・実習・ での授業時数	実技の授業時数	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/ if 180 単 180 単 180 単 0 単 単 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	o/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合、 https://ww (A:単位	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 例えば以下について 評価機材 wtokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業	田意記載 田法人柔道整復教育 Acourse/judo-study 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 ま等と連携したイン 等と連携した大演習の	を要習・実技の 授業時数 した必修の実 した必修の演 実習・実技の 実習・実技の	○授業時数 「破験・実習・ 習の授業時数 ○授業時数	実技の授業時数数	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/ if 180 単 180 単 0 単 0 単 単 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	o/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合、 https://ww (A:単位	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 例えば以下について 評価機材 wtokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業	田意記載 田法人柔道整復教育 Acourse/judo-study 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 業等と連携したイン 等と連携した演習の 授業時数	を表習・実技の 授業時数 した必修の実 した必修の演 実習・実技の 使業時数	D授業時数 定験・実習・ 習の授業時数 D授業時数	実技の授業時数 数 対) 実技の授業時数	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/ if 180 単 180 単 180 単 0 単 0 単 単 単 単 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	o/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状か (A、Bいずれか	■民間の記 ※有の場合、 https://ww (A:単位	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 子価団体: 評価機材 wtokyo-medical.aci 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企修 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業	田意記載 田法人柔道整復教育 Acourse/judo-study 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 ま等と連携した大変で 等と連携した大変で 等と連携した大変で なったのである。	実習・実技の 授業時数 した必修の実 した必修の実 実習・実技の 大を必修の実 した必修の実 した必修の実 した必修の 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を	D授業時数 「製造・実習・ では、	実技の授業時数 数 t) 実技の授業時数 数	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/ if 180 単 180 単 180 単 0 単 0 単 単 単 単 単 単 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位 位 位 位 位 位 位 位	o/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した に く な 、 ス 、 民 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、	■民間の記 ※有の場合、 https://ww (A:単位	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 子価団体: 評価機材 wtokyo-medical.aci 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企修 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業	田意記載 田法人柔道整復教育 Acourse/judo-study 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 大た演習の 授業時数 うち企業等と連携 である。 「大変ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	実習・実技の 授業時数 した必修の実 した必修の実 実習・実技の 大を必修の実 した必修の実 した必修の実 した必修の 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を	D授業時数 「製造・実習・ では、	実技の授業時数 数 t) 実技の授業時数 数	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/ if 180 単 180 単 180 単 0 単 0 単 単 単 単 単 単 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	a/about/info/hokoku.
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した に く な 、 ス 、 民 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、	■民間の記 ※有の場合、 https://ww (A:単位	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 子価団体: 評価機材 wtokyo-medical.aci 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企修 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業	田意記載 田法人柔道整復教育 Acourse/judo-study 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 大た演習の 授業時数 うち企業等と連携 である。 「大変ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	実習・実技の 授業時数 した必修の実 した必修の実 実習・実技の 大を必修の実 した必修の実 した必修の実 した必修の 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を 大を	D授業時数 「製造・実習・ では、	実技の授業時数 数 t) 実技の授業時数 数	府米を拘載した ムページⅡRI	medical.ac.jp/ if 180 単 180 単 180 単 0 単 0 単 単 単 単 単 単 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	a/about/info/hokoku.i
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した に く な 、 ス 、 民 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、	■民間の語 ※有の場合、 ※有の場合、 (A:単位 (B:単位	平価機関等から第: 例えば以下について(例えば以下について(呼価団体: 評価機材 w.tokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	田意記載 田法人柔道整復教育 A course/judo-study 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 授業時数 「うち企業等と連携したイン 等と連携した実験・ 等と連携した大変験・ 等と連携した大変験・ 方ち企業等と連携したイン 禁と連携した大変を できる。 「おきない。」 「はいい。」 「はいいい。」 「はいいい。」 「はいいい。」 「はいいい。」 「はいいい。」 「はいいい。」 「はいいい。」 「はいいい。」 「はいいいい。」 「はいいいい。」 「はいいいい。」 「はいいいいいいい。」 「はいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	実習・実技の 実習・実技の した必修の演 した必修の演 とまる。 実習・実技の をので でので でので でので でので でので でので での	D授業時数 「課験・実習・ では、	実技の授業時数 数 t) 実技の授業時数 数 t)	相来を物献した ムページURL S	medical.ac.jp/ ## 180 単 180 単 180 単 0 単 0 単 単 単 単 単 単 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位位時間 位位時間 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位 位 位	a/about/info/hokoku.i
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した に く な 、 ス 、 民 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、	■民間の語 ※有の場合、 ・ https://ww (A:単位	平価機関等から第: 例えば以下について(例えば以下について(呼価団体: 評価機材 w.tokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	田意記載 田法人柔道整復教育 は大人柔道整復教育 なっていまり、はの一ましか。 一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一	実習・実技の 実習・実技の を表現した必修のする。 したシシシップラートを表現した必修のである。 実際である。 までは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	D授業時数 「課験・実習・ では、	実技の授業時数 数 t) 実技の授業時数 数	相来を物献した ムページURL S	medical.ac.jp/ if 180 単 180 単 180 単 0 単 0 単 単 単 単 単 単 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位位時間 位位時間 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位 位 位	s/about/info/hokoku.i
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した に く な 、 ス 、 民 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、	■民間の語 ※有の場合、 ・ https://ww (A:単位	平価機関等から第: 例えば以下について 例えば以下について 子価団体: 一般社匠 平価団体: 一般社匠 学価団体: 一部価機材 wtokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	田意記載 田法人柔道整復教育 は大人柔道整復教育 なっていまり、はの一ましか。 一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一	実習・実技の 実習・実技の を表現した必修のする。 したシシシップラートを表現した必修のである。 実際である。 までは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	D授業時数 「課験・実習・ では、	実技の授業時数 数 t) 実技の授業時数 数 t)	相来を物献した ムページURL S	medical.ac.jp/ ## 180 単 180 単 180 単 0 単 0 単 単 単 単 単 単 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位位時間 位位時間 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位 位 位	s/about/info/hokoku.i
学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した に く な 、 ス 、 民 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、	■民間の語 ※有の場合、 ・ https://ww (A:単位	平価機関等から第: 例えば以下について(例えば以下について(呼価団体: 評価機材 w.tokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	田意記載 田法人柔道整復教育 Acourse/judo-study 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 等と連携したイン 等と連携した大演習の 授業時を主連携した不変験・ 安と連携した大演習の 授業時を企業等と連携 うち企業等と連携 うちと連携した大演習の 授業時数 第等と連携 「うちと連携した大演習の 「おいます。」 「おいまするます。」 「おいまするます。」 「おいまするます。」 「おいまするます。」 「おいまするます。」 「おいまするまするます。」 「おいまするます。」 「おいまするまするまするます。」 「おいまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするまするま	実習・実技の 実習・実技の を表現した必修のする。 したシシシップラートを表現した必修のである。 実際である。 までは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	D 授業時数 定験・実習・ での授業時数 がの授業時数 がの授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数 での授業時数	実技の授業時数 数 t) 実技の授業時数 数 t)	お で 後	medical.ac.jp/ ## 180 単 180 単 180 単 0 単 0 単 単 単 単 単 単 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間	s/about/info/hokoku.i
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等・と連携しした況か に記入)	■民間の語 ※有の場合、 ・ https://ww (A:単位	平価機関等から第に 例えば以下について 例えば以下について 例えば以下について 一般社性 機材 w.tokyo-medical.ac.i 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企必修 (うち企 いて予課程で の存担程の の本の は り、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、 の、	田意記載 田法人柔道整復教育 A course/judo-study 等と連携した実験 等と連携した演習の 授業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うちと連携したた演習の 授業時数 「うち企業等と連携 「うちと連携したな演習の 「おいる。」 「おいる。」 「	実習・実技の 実習・実技の を表現した必修のする。 したシシシップラートを表現した必修のである。 実際である。 までは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	D 授業時数 対験・実習・ 対別の授業時数 D 授業時数 D 授業時数 では、実習・ では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数 (1)	高末を拘敝した ムページURL (5 (5) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (8) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9) (9	180 単単 単単 単単 単単 単単 単単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位 位時間 位 位 時間 位 位 時間 位 位 時間 位 位 時間 位 位 位 位	s/about/info/hokoku.i
学校評価 当該グページ URL な業等等の実いず) 企業習等、配入) の属について記 教教教員員について記	■民間の語 ※有の場合、 ・ https://ww (A:単位	平価機関等から第: 例えば以下について(例えば以下について(例えば以下について(例えば以下について(例えば))	田意記載 別法人柔道整復教育 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	実習・実技の 実習・実技の を表現した必修のする。 したシシシップラートを表現した必修のである。 実際である。 までは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	D 授業時数 を	実技の授業時数 数 (t) 実技の授業時数 数 (t) 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	高末を拘敝した 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	180 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位位時間 位位時間	s/about/info/hokoku.i
学校評価 当該学科の ホームページ URL を楽等等の実施が、 に記入 の 属性性 の の 属性性 の の の の に の の の に の の の の の の の の の の	■民間の語 ※有の場合、 ・ https://ww (A:単位	平価機関等から第:(例えば以下について(例えば以下について(例えば以下について(例えば以下に)) (例えば以下にのいて(例えば以下に) (例えば以下に) (例えば以下に) (例えば以下に) (例えば以下に) (例えば以下に) (のます)	田意記載 別法人柔道整復教育 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	実習・実技の 実習・実技の を表現した必修のする。 したシシシップラートを表現した必修のである。 実際である。 までは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	D 授業時数 を 実習・ 実習・ 表でである。 を できます。 を できまする できまする できます。 を できまする できま	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数 (2) かける を を を と を と を と と と と と と と と と と と と	新来を物献した	180 単 180 単 単 180 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位位時間 位位時間 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位	s/about/info/hokoku.i
学校評価 当該学科のホージ URL 金業等等のに対した況の に記入) を実施ずれかに記入)	■民間の語 ※有の場合、 ・ https://ww (A:単位	平価機関等から第:	田意記載 別法人柔道整復教育 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	実習・実技の 実習・実技の を表現した必修のする。 したシシシップラートを表現した必修のである。 実際である。 までは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	D 授業時数 を 実習・ 実習・ 表でである。 を できます。 を できまする できまする できます。 を できまする できま	実技の授業時数 数 (t) 実技の授業時数 数 (t) 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	新来を物献した	180 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位位時間 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位	a/about/info/hokoku.i
学校評価 当該学科のホージ URL 金業等等のに対した況の に記入) を実施ずれかに記入)	■民間の語 ※有の場合、 ・ https://ww (A:単位	平価機関等から第:(例えば以下について(例えば以下について(例えば以下について(例えば以下に)) (例えば以下にのいて(例えば以下に) (例えば以下に) (例えば以下に) (例えば以下に) (例えば以下に) (例えば以下に) (のます)	田意記載 別法人柔道整復教育 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	実習・実技の 実習・実技の を表現した必修のする。 したシシシップラートを表現した必修のである。 実際である。 までは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	D 授業時数 を 実習・ 実習・ 表でである。 を できます。 を できまする できまする できます。 を できまする できま	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数 (2) かける を を を と を と を と と と と と と と と と と と と	新来を物献した	180 単 180 単 単 180 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位位時間 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位	a/about/info/hokoku.i
学校評価 当該学科のホージ URL 金業等等のに対した況の に記入) を実施ずれかに記入)	■民間の語 ※有の場合、 ・ https://ww (A:単位	平価機関等から第:	田意記載 別法人柔道整復教育 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	実習・実技の 実習・実技の を表現した必修のする。 したシシシップラートを表現した必修のである。 実際である。 までは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	D 授業時数 を 実習・ 実習・ 表でである。 を できます。 を できまする できまする できます。 を できまする できま	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数 (2) かける を を を と を と を と と と と と と と と と と と と	新来を物献した	180 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位位時間 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位 位位	a/about/info/hokoku.i
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等等の実施状か に記入)	■ 民間の語 ※有の場合、語 ※有の場合、語 (A:単位	平価機関等から第:(例えば以下について(所見ば以下について(所見ば以下について(所見	田意記載 田法人柔道整復教育 は大人柔道整復教育 は大人柔道整復教育 は大人柔道整復教育 は大人柔道整復教育 は大人柔道整復教育 等と連携した実験の を実等と連携 うちな建業等とはは大大変験・ をと連携した実験・ のうちな連携した実験の うちな連連携 を発達等とは連携 ま等をと連携 ま等をと連携 までもなる素等とはできる。 は、大変な変勢をは連携 までもなる。 は、大変な変勢をは、大変な変勢をは、は、大変な変勢をは、は、大変な変勢をは、は、大変な変勢を表するな変勢を表するな変変を表するな変勢を表するな変勢を表するな変勢を表するな変を表するな変勢を表するな変勢を表するな変勢を表するな変勢を表するな変勢を表するな変勢を表するな変勢を表するな変を表するな変勢を表するな変勢を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変変を表するな変を表するな変変を表するな変変を表するな変を変を表するな変を表するな変を表するな変を表するな変を表するな変を表するな変を表するな変を表するな変を表するな変を変を表するな変を表するな変を表するな変を変を表するな変を変を変を変を変を変を変を変を変更を表するな変を変を変を変を変を変を変を変を変を変を変を変を変を変を変を変を変を変を変を	実習・実技の 実習・実技の 実際 時数 のののップラント を必修り では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	D授業時数 「受験・実習・時数 「受験・実習・時数 「受機・実習・時数 「受機・実習・時数 「要素 「更素 「更 「更	実技の授業時数 数 (1) 実技の授業時数 数 (2) かける を を を と を と を と と と と と と と と と と と と	高水を物版した	180 単	位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位時間 位 位時間 位 位 位 位 位	s/about/info/hokoku.

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業・業界の求める知識・技術が教育課程に反映されるように業界の動向に関して情報交換を行い、教育課程の改善および改定を定期的に実施することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校の教育課程編成委員会は理事会のもと設置され(添付教育課程編成委員会規定参照)、委員会の適切な運営は理事長が担保することになっている。また学校運営においては教務組織規定において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を充分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従い、委員会を運営している。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

#REF!

名 前	所 属	任期	種別
古島 昭博	滋慶学園 常務理事	2023.4.1~2025.3.31	
関口 正雄	東京メディカル・スポーツ専門学校 学校長	2023.4.1~2025.3.31	
藤本 拓也	東京メディカル・スポーツ専門学校 事務局長	2023.11.1~2025.10.31	
西田 茂男	東京メディカル・スポーツ専門学校 教務部長	2023.11.1~2025.10.31	
小関 孝男	東京メディカル・スポーツ専門学校 柔道整復師科学科長	2023.4.1~2025.3.31	
伊藤 譲	日本体育大学	2023.4.1~2025.3.31	2
細野 昇	呉竹医療専門学校	2023.4.1~2025.3.31	2
森松 祐介	相模大野鍼灸院・整骨院	2023.4.1~2025.3.31	3

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 2023年7月3日 13:00~14:40 第2回 2023年11月22日 15:00~16:30

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ・現在はあるべき柔道整復師像が揺らいでいる点があるので、再度皆で考え検討する必要があるのではないか?柔道整復師が危機的な状況があるので、「今できること」という観点でカリキュラムの検討をしていく。
- ・学生のモチベーションと将来像を繋ぐカリキュラムの再考→技術・知識以外に「態度」をどのように評価するかという基準を学年ごとに詰めていく。
- ・国家試験対策は各学年の目標を明確化させて教員・学生共に意識しながら授業に臨んでいく。
- ・卒業生より業界の人からの話の方が効果が高いと感じたので、1年からフローで取り組んでいく。
- ・スポーツ(外傷予防)というのは非常に魅力的な分野なので、学校側から学生へ示す。
- ・午前コースは多様性の力をつける教育。午後コースはATに特化させる等、午前と午後で色分けをしていく。
- ・午前と午後で学ぶ主体を明確にわけて付加していくやり方(独立開業をする。スポーツトレーナーを目指す等)を取り入れ、既卒マーケットを広げていく必要性がある。
- ・国家資格合格をするためだけではなく、どんな柔道整復師科になって欲しいかを考えてシステム化すること。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

TMS柔道整復師科は、「医療×スポーツ」をコンセプトに、柔道整復師の新たな価値を創造し続け、多角的な視点から健康社会への一翼を担うことができる柔道整復師を輩出することで社会に貢献することを基本方針としている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習指導者は、本校で行う臨床実習指導者講習会を受講し、終了後東京都に申請し修了認定を受けた者のみ指導を行うことができる。 さらに臨床実習を行う前に臨床実習指導者会議を行い、学校が考える実習の到達目標・実習方針等を確認し伝えている。実習中学生 は、デイリーノートを毎日記入し、指導者に提出しコメントをいただいている。また実習期間中に本校専任教員が訪問し、学生に面談する とともに、指導者にヒヤリングを行い、改善などあればその場で学生に伝える。実習終了後は、評価表、出欠表を学校に提出いただきデ イリーノートとともに総合的な判断し最終評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
臨床実習 I	臨床実習を付属接骨院と学外研修で行う。医療人としての協調性と責任感を養い、社会に適応していくための態度と能力を高めることを実習の目的とする。具体的には、協調性:実習施設において施設スタッフ並びに他の学生と協力し合い、臨床及び共同生活が出来る。責任感」:実習施設において与えられた役務を放棄することなく、遂行することが出来る。臨床能力:医療面接、柔道整復術の適応と限界が把握出来る。以上を目的とする。	株式会社クラシオン・株式会社HSコーポレーション・株式会社F・C・C(他13社)※治療院数125施設
臨床実習Ⅱ	臨床実習 I を受けて、より実践に近い知識と技量を身に着ける。具体的には、捻挫・打撲等の軽傷について、免許取得後すぐに治療を行える技量を身に着ける。	株式会社クラシオン・株式会社HSコーポレーション・株式会社F・C・C(他13社)※治療院数125施設

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学校で毎年定める事業計画の実行方針において提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学防止、卒業後の離職防止)を具現化するために、企業等からのヒアリングを行い、業界の動きを踏まえた実行計画を作成しています。企業等への擬態的な情報提供方法としては、業界関係者である講師と教員間での講師会議を開催し、授業科目編成や各科目のシラバスなどについて審議を行い、そこで出された意見を実行案へと反映させます。そして、ホームページでの情報提供により、広く学校の取り組みや理念を公開しています。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 第32回日本柔道整復接骨医学会 学術大会 連携企業等: 日本柔道整復接骨医学会

期間: 2023年12月2日~3日 対象: 学会会員

内容 「臨床と学術の融合」をテーマにした症例報告・研究発表

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 全国柔道整復学校協会 第65回 教員研修会 連携企業等: 全国柔道整復学校協会

期間: 2023年9月23日~24日 対象: 学科全教員

内容 「柔道整復の新時代へ」をテーマに、現在の学生に対する教育手法を実技、コミュニケーションといった側面からの研修

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 第33回日本柔道整復接骨医学会 学術大会 連携企業等:日本柔道整復接骨医学会

期間: 2024年11月30日~12月1日 対象: 学会会員 内容 「柔道整復師~多様性の時代にどう生きるか」「災害時の柔道整復師の役割」をテーマにした症例検討・研究発表

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 全国柔道整復学校協会 第66回 教員研修会 連携企業等: 全国柔道整復学校協会

期間: 2024年9月21日~22日 対象: 学科全教員

内容 「柔道整復の新時代へ」をテーマに、教育手法、柔道整復師養成施設の在り方、コア・カリキュラム等についての研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営の理解促進や連携協力による学校運営 の改善を目的とし、自己点検・評価の結果は学校法人滋慶学園情報公開規定に基づき学校内外に開示するものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念·目標·育成人材像
(2)学校運営	運営方針・事業計画・運営組織・人事・給与制度・意思決定システム
(3)教育活動	目標設定・教育方法・評価等・成績評価・単位認定等・資格・免許取得の指導体制他
(4)学修成果	就職率・資格・免許の取得率・卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職等進路・中途退学への対応・学生相談・学生生活・保護者との連携・卒業生・社会人
(6)教育環境	施設・設備等・学外実習・インターシップ等・防災・安全管理
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動・入学選考・学納金
(8)財務	財務基盤・予算・収支計画・監査・財務情報の公開
(9)法令等の遵守	関係法令・設置基準等の遵守・個人情報保護・学校評価・教育情報の公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献・ボランティア活動
(11)国際交流	

- ※(10)及び(11)については任意記載。
- (3)学校関係者評価結果の活用状況
- ●学校のルールとしてテストの回答は返却するようにしてください。
- ●学校長や理事長の入学式などの話は、この学校がどんな考えで運営しているかなどを伝える場なので、別に場を設けて直接保護者の方と話を聞いた方がいいのではないか。
- ●学校案内などに部活動の写真などがない。もう少し幅広く告知をしてはどうか。
- ●学生募集について、夜間などもあるので年齢を広げたり、女性を対象にするなどしても良いと思う。
- (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
牛込 公一	一般社団法人日本パラフェンシング協会	令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年)	卒業生
和田 清香	在籍者保護者	令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年)	保護者
森 章	拓大紅陵高等学校	令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年)	高等学校
沼倉 英里	行船管理有限会社	令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年)	地域
藤野 浩一郎	一般社団法人TMG本部	令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年)	業界関係
髙井 豊	社会医療法人社団森山医会	令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年)	業界関係
宇梶 義男	ムーヴアクション株式会社	令和5年4月1日~令和7年3月31日(2年)	業界関係

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物・その他())

URL: https://www.tokyo-medical.ac.jp/common/doc/about/infomation/2025_hyouka_kekka.pdf

公表時期: 令和6年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他())

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	 ・基本情報 ・閉校の目的 ・建学の理念 ・学校の沿革 ・学校長略歴・ご挨拶 ・各科の養成目的
(2)各学科等の教育	・各科の別、修業年限、入学定員 ・教育目標・教育システム ・教育スケジュール ・取得目標資格 ・卒業後の進路(主な就職先)
(3)教職員	・代表教員の紹介
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・キャリア教育への取り組み・就職支援の取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	·教育活動 ·学校設備状況
(6)学生の生活支援	・主なサポートシステム・医療、健康サアポート・住環境サポート・就職サポート
(7)学生納付金·修学支援	・学生納付金情報 ・学費サポートシステム
(8)学校の財務	· 監査報告、貸借対照表、収支計算書、財産目録
(9)学校評価	・自己点検、自己評価 ・学校関係者評価の議事録
(10)国際連携の状況	
(11)その他 ※(10)及び(11)については任意記載	・災害時避難の対応

※(10)及び(11)については任意記載。
(3)情報提供方法
(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

))

URL: https://www.tokyo-medical.ac.jp/about/infomation/

公表時期: 令和6年6月30日

授業科目等の概要

		分類							ŧ¤	2 坐 -	方法	坦	所	教員		
	必	選	自由	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習	校	校	専任	兼	企業等との連携
1	0			生物学	専門科目の前提となる理科の分野について 習得する。	1	60	4	0			0			0	
2	0			保健体育 I	治療院で必要になるリハビリテーション・トレーニン グ・テーピンクの知識・技術について習得す る。		60	4	0			0		0		
3	0			保健体育Ⅱ	身体の運動について学ぶ。(放送大学)	1	60	2	0			0			0	
4	0			栄養学	栄養学の基礎を学ぶ。(放送大学)	1	60	2	0			0			0	
5	0			論理学	文章を読むこと、論理的に内容を伝えることの基礎を身につける。 (放送大学)	1	60	2	0			0			0	
6	0			キャリアデザ イン講座	自分自身の学校生活や職業人生、キャリア について、自らが主体となって構想し,実 現していくことを知る。	1	30	2	0			0		0		
7	0			解剖学 I	人体を構成する諸器官や組織の正常な形態・構成・機能などの基礎知識を理解する。	1	60	4	0			0			0	
8	0			解剖学Ⅱ	人体を構成する諸器官や組織の正常な形態・構成・機能などの基礎知識を理解する。	2	60	4	0			0			0	
9	0			解剖学Ⅲ	人体を構成する諸器官や組織の正常な形態・構成・機能などの基礎知識を理解する。	3	60	4	0			0			0	
10	0			生理学 I	人体を構成している組織・臓器・内部環境の恒常性維持・外部環境への適応などの機能やその仕組みについて理解する。	1	60	4	0			0			0	
11	0			生理学Ⅱ	人体を構成している組織・臓器・内部環境の恒常性維持・外部環境への適応などの機能やその仕組みについて理解する。	2	30	2	0			0			0	
12	0			生理学Ⅲ	人体を構成している組織・臓器・内部環境の恒 常性維持・外部環境への適応などの機能やそ の仕組みについて理解する。	3	60	4	0			0			0	
13	0			運動学	人間の身体運動を科学的に分析研究すること により、運動器の構造や機能、正常運動の特 性について理解する。	2	60	4	0			0			0	

0			2	30	2	0			0		0		
0	病理学概論	生体に起こる病的障害の原因・成立過程・結果 を正しく把握し、生体の刺激に対する組織的変 化、機能的変化などを理解する。	2	60	4	0			0			0	
0	一般臨床医	関節の構造や仕組みより深く理解し、人間 の運動機能について学ぶ。	2	60	4	0			0			0	
0	外科学概論	柔道整復師として必要な外科に関る知識を習 得する。	2	60	4	0			0			0	
0	整形外科学	外科系臨床医学のうち、骨・関節・筋・靭帯・末 梢神経など運動器疾患を扱う分野。 後期集中 講義。	2	30	2	0			0			0	
0	リハビリテー ション医学	医学的リハビリテーションの対象となる中枢・末梢神経疾患をはじめとする主要な疾患の病態、診断、治療、予防などの基本的原則について理解する。	2	60	4	0			0			0	
0	柔道整復術応	新・脱臼・捻挫・打撲・筋挫傷の適応がどのようなものなのか、基礎的な知識を身につける。	3	30	2	0			0		0		
0	関係法規	柔道整復師に関する法律を学ぶ。	3	30	2	0			0		0		
0	柔道I	柔道の技術・知識を身につけることにより、柔 道整復の源流を理解する。	1	60	2			0	0			0	
0	柔道Ⅱ	柔道の技術・知識を身につけることにより、柔 道整復の源流を理解する。	3	30	1			0	0		0		
0	衛生学•公5 衛生学	人々の健康づくりに携わる医療人として求められる幅広い教養と倫理観の習得を目的とする。	1	60	4	0			0			0	
0	職業倫理	医療職と倫理について理解し、医療倫理の基本原則を知る。	1	15	1	0			0		0		
0	社会保障制	までは 素道整復術と地域社会のかかわりについての 基本的な視点を知る	1	15	1	0			0		0		
0	基礎柔道整 学 I	复 柔道整復に関る基本的概念・知識を理解する。	1	60	4	0			0		0		
0	基礎柔道整 学 Ⅱ	复 柔道整復に関る基本的概念・知識を理解する。	1	60	4	0			0			0	
0	基礎柔道整 学Ⅲ	复 柔道整復に関る基本的概念・知識を理解する。	1	60	4	0			0		0		
		○ 書徴 ○ 日本 日本 日本	□ 日報	○					古の生理的特 を主体的いりが多いをしいっている。	 高の生理的特 数生理学と運動生理学の基礎的な知識を学ぶ。 2 30 2 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	大田田田	日本の生理的特別主理学と運動主理学の基礎的な知識を学ぶ	○

30	0	外傷の保存療 法	現代における、自然治癒力を使った保存療法 の利点について学ぶ。	1	15	1	0		0		0	
31	0	臨床柔道整復 学 I	柔道整復に関る実践的知識の習得を図る。	2	60	4	0		0		0	
32	0	臨床柔道整復 学 Ⅱ	柔道整復に関る実践的知識の習得を図る。	2	60	4	0		0	0		
33	0	臨床柔道整復 学Ⅲ	柔道整復に関る実践的知識の習得を図る。	2	60	4	0		0	0		
34	0	臨床柔道整復 学Ⅳ	柔道整復に関る実践的知識の習得を図る。	3	60	4	0			0		
35	0	臨床柔道整復 学 V	柔道整復に関る実践的知識の習得を図る。	3	60	4	0		0	0		
36	0	臨床柔道整復 学Ⅵ	柔道整復に関る実践的知識の習得を図る。	3	60	4	0		0	0		
37	0	臨床柔道整復 学Ⅷ	柔道整復に関る実践的知識の習得を図る。	3	60	4	0		0	0		
38	0	柔道整復演習 I	柔道整復学の総仕上げとして、教科書全範囲 の理解を確認し、臨床に使えるレベルに向上さ せる。	3	60	2	0		0	0		
39	0	柔道整復演習 Ⅱ	柔道整復学の総仕上げとして、教科書全範囲 の理解を確認し、臨床に使えるレベルに向上さ せる。	3	60	2	0		0	0		
40	0	柔道整復演習 皿	柔道整復学の総仕上げとして、教科書全範囲 の理解を確認し、臨床に使えるレベルに向上さ せる。	3	30	1	0		0	0		
41	0		安全に柔道整復術を提供するため、臨床所見 から判断して施術に適する損傷と、適さない損 傷を的確に判断できる能力を身につける。	3	30	2	0		0	0		
42	0		物理療法の各治療法を基本に則って安全かつ 効果的に実施する基礎的知識を身につける。	1	15	1	0		0		0	
43	0	柔道整復実技 I	柔道整復師として必要な技術を基礎から実践 的なところまで習得する。	1	60	2		0	0		0	
44	0	柔道整復実技 Ⅱ	柔道整復師として必要な技術を基礎から実践 的なところまで習得する。	1	60	2		0	0		0	
45	0	柔道整復実技 Ⅲ	柔道整復師として必要な技術を基礎から実践 的なところまで習得する。	2	60	2		0	0		0	

_								 						
46	0		柔道整復実技 Ⅳ	柔道整復師として必要な技術を基礎から実践 的なところまで習得する。	3	60	2		0	0		0		
47	0			柔道整復師として必要な技術を基礎から実践 的なところまで習得する。	3	60	2		0	0		0		
48	0		柔道整復実技 VI	柔道整復師として必要な技術を基礎から実践 的なところまで習得する。	3	60	2		0	0			0	
49	0		柔道整復実技 Ⅷ	柔道整復師として必要な技術を基礎から実践 的なところまで習得する。	3	60	2		0	0			0	
50	0			高齢者の健康状態を知り、高齢者への運動指導法の基礎を学ぶ。スポーツ選手の体調を管理し、外傷・障害を予防するための知識を身につける。	2	60	2		0	0		0		
51	0		臨床前施術試 験等	臨床実習に望む前段階として、患者さんとの良好な信頼関係を構築するための過程を理解し、必要な基本行為が実践できることを目的とする。	1	30	1		0	0		0		
52	0		臨床実習 I	医療人としての協調性と責任感を養い、社会に 適応していくための態度と能力を高めることを 実習の目的とする。	2	135	3		0	0	0	0	0	0
53	0		臨床実習Ⅱ	実践に近い知識と技量を身につける。	3	45	1		0	0	0	0	0	0
		合	<u></u>	53	禾	排目			2760	単化	立 (単位	時間	引)

	卒業要件及び履修方法	授業期間等	<u> </u>
卒業要件:	卒業時までに全科目の履修単位を取得して卒業判定会議に合格し、学校長が適当と認めた者が卒業となる。ただし、柔道整復師科、鍼灸師科に関しては、実技認定試験(認定実技審査)の合格も要件とする。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:	出席時間数が70%以上で、各科の評価試験を行う	1 学期の授業期間	30 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。